

「食と農のセミナー」小学生田植え体験が開催されました

5月24日（金）に上田市真田傍陽の現地ほ場で、傍陽小学校5年生の田植え体験が行われました。

例年行われている田植えですが、今年は「食と農のセミナー」として、初めて農村女性ネットワーク上小も参加し、真田地区営農活性化委員会と連携して児童を指導しました。

最初子供たちは、恐る恐る田んぼに足を入れて、泥の感触に「キヤーッ！」と歓声を上げていましたが、終盤になると作業のスピードも上がり、約1時間で作業が終了しました。

今回の田植えは、農村女性ネットワーク上小から食育活動の一環として、小学校の農業体験に協力したいと申し出たところ、快く受けてもらい実現したもので、参加したネットワークの会員は、「地元の小学校行事に協力することができて良かった」とおっしゃっていました。

学校の先生も「地元の人が積極的に小学校に関わってくださって、大変ありがたい」とのことで、「これからも農業のことで学習する機会があるときは、指導に来ていただきたい」とおっしゃっていました。

今後は、地域の伝統行事「ねじ」について調理体験を行う予定です



まずは自己紹介



児童と一緒に田植えをしました